

令和二年十二月一日発行（毎月一回）
書象 第六十八巻 第十一号 通巻七八一号

書象



日本書道芸術協会
SHO JAPAN
設立1951年
代表理事 山本 浩一
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
電話 03-5561-1111
FAX 03-5561-1112
Eメール shojapan@shojapan.jp



日本書道芸術協会

2020-12

コロナ禍の中の書象展

理事長 市澤 静山

今年には新型コロナウイルス感染症が突然発生し、そのウイルスは世界中に蔓延した。日本では感染防止のため緊急事態宣言が発せられ、人との接触を避け外出の自粛が要請された。人が集まる施設は閉じられ、各種の大会や行事はすべて中止となった。

このような状況下でも、書象展は実施に向けて三密を避けるための方策を検討した。添削会はとり止めて通信による指導とし、審査会は特別処置として少人数で実施した。

感染が下火に転じ、緊急事態宣言が解除されて、六月に入ると国立新美術館がオープンし、書象展は展示開催が実現された。開会中予定にあったギャラリートーク・講習会など中止となったのは残念ではあったが、皆の協力で感染もなく無事終了した。ありがたいことであつた。

十月十九日、日展入選者が発表された。十二%の入選率はあまりにも厳しい。恐る恐る見た書象会の入選者は予想以上の人数で大変喜ばしい結果となつた。入選者には心よりお祝いを申し上げる。審査をされた内藤望山先生のご尽力のお蔭であり感謝申し上げます。今年早い時期から日展作品に取り組み、添削会にも大勢が参加し、よく研鑽されていたことも好成績に繋がったと思われる。

このコロナ禍の中、支部展や地域の展覧会に出品され、よい作品づくりをし、よい仕事をされた方も大勢いた。悪い条件の中の頑張りや来年にも繋がる力となるはずである。

今年には三名の方がすばらしい個展を開かれた。それについて少し述べたい。

「露崎玄峯書展」（本誌五月号掲載）露崎玄峯さんは書象誌編集部長を務められ、高校・大学で教鞭を執られていて多忙の中、初の個展を銀座の画廊で開かれた。出品作品の大きさ、型式、書体、古典臨書等すべてに多種多彩であり、加えて用紙、表具、陳列にも工夫が行き届いて、楽しく拝見した。作品の温かさと冴えが心地好く私の心に響いて来ることを感じた。今回沢山の作品を拝見することにより玄峯さんの表現領域の広さを見た。作家の書に対する意識、感性、技量等の確かさを感じた。よき展示ができたことを祝い、今後のご発展を祈りたい。

ベルリン・森鷗外記念館「吉見松香展」（本誌十一月号掲載）ベルリンに森鷗外記念館がある。そのビルの外壁に吉見松香さんの隷書大字作品「鷗外」が取り付けられていて町では評判になっていると聞く。

始まりは二〇〇五年、鷗外記念館が公募展募集を行い、それに出品された松香さんが、最優秀賞に輝き、その縁で交流が深まり、今回の個展開催となった。開会式の時に松香さんが渾身の力で大字作品を揮毫されたと聞いた。上條信山先生が海外で行われた展覧会のことを思い出した。信山先生の愛弟子が先生の海外展業績を継ぐよい仕事をされたのだと強く感じたのである。

「松本小光卒寿展」（本誌十二月号掲載）松本小光さんは古稀の時にも個展をされた。一歌で迎える二十世紀―と題して、仮名作品を多彩に美しく書かれた。それから二十二年間変りなく書象展や中央展、日展にも大変な熱意を持って挑戦されて来た。仮名の巧さを生かした調和体は磨かれて、日展に再度の入選を果たされた。個展の開催は容易なことではない。九十歳、お元気で実行力のある小光さんの快筆である。小光さんには今後も永くお元気で活躍され、後進に範を示していただきたい。

今年にはコロナ禍で大騒ぎの年でした。書象会では会員の方の感染は今までのところ伝えられていない。どうかこのままできてほしいと願う。皆様のご健康を祈念してこの稿を閉じる。



相送りて高台に臨む

12月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付

行書臨書規定【臨規】

(師範・準師範・段位)

集王聖教序

上條信山先生書



聖礙無きが故に、(恐怖)有る無し。

12月20日必着
出品券を貼付

- ・線の細太、緩急の変化に注目したい。
- ・文字の概形を把握した上で、半紙に六文字を上手にまとめた
- い。
- ・筆脈を大切にして、二、三文字を一気に書きたい。

無



礙



無



般
若



行書臨書規定【臨規】
(級位)

集王聖教序

上條信山先生書

・墨量を豊かに、腕を大きく動かして軽快に書く。

般：偏と旁の関係、空間のとり方がポイント。

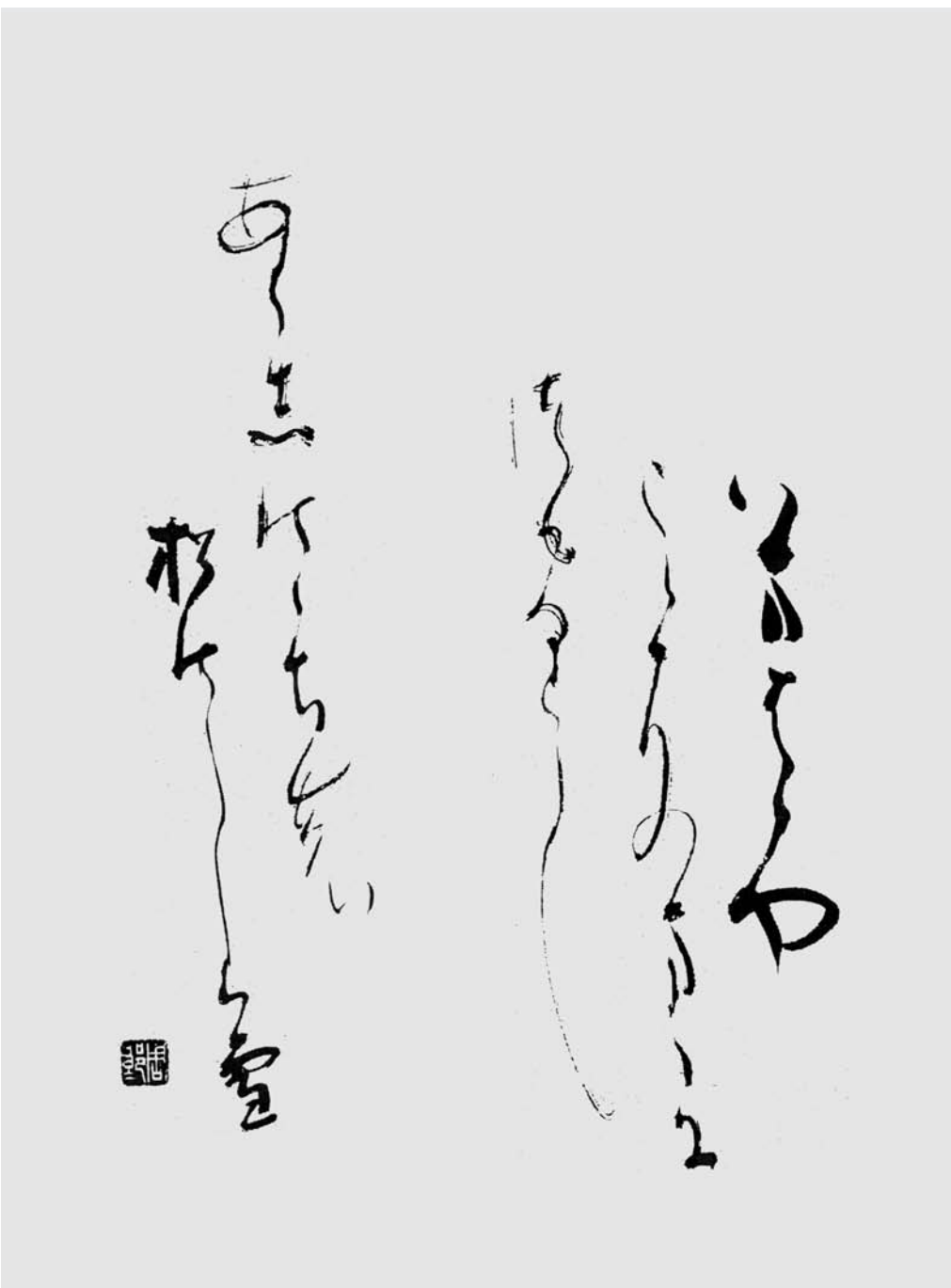


若：四本の横画の方向の違いに気をつける。



仮名規定【仮規】 (師範・準師範・段位)

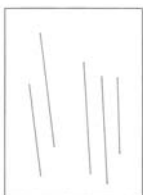
上條 信山 先生書



いま(万)は(者)は(こ)や(こ)こ(こ)ろ(の)ま(万)ま(に)示(示)
つ(徒)も(ら)し(あ)ら(し)志(志)の(能)の(ち)の(農)松(の)能(能)し(ら)雪(雪)
(細川幽齋)

12月20日必着
出品券を貼付

・全体の構成は左図参照。各行の高さ、傾きに注意してまとめる。一行目と五行目の墨量を多くし、立体感を出す。



「いま(万)は(者)は(こ)や」

「あらし(志)」

「の(能)の(ち)の(農)」

「し(ら)雪」

「松(の)能(能)」

「ま(に)示(示)」

「こ(こ)ろ(の)ま(万)ま(に)示(示)」

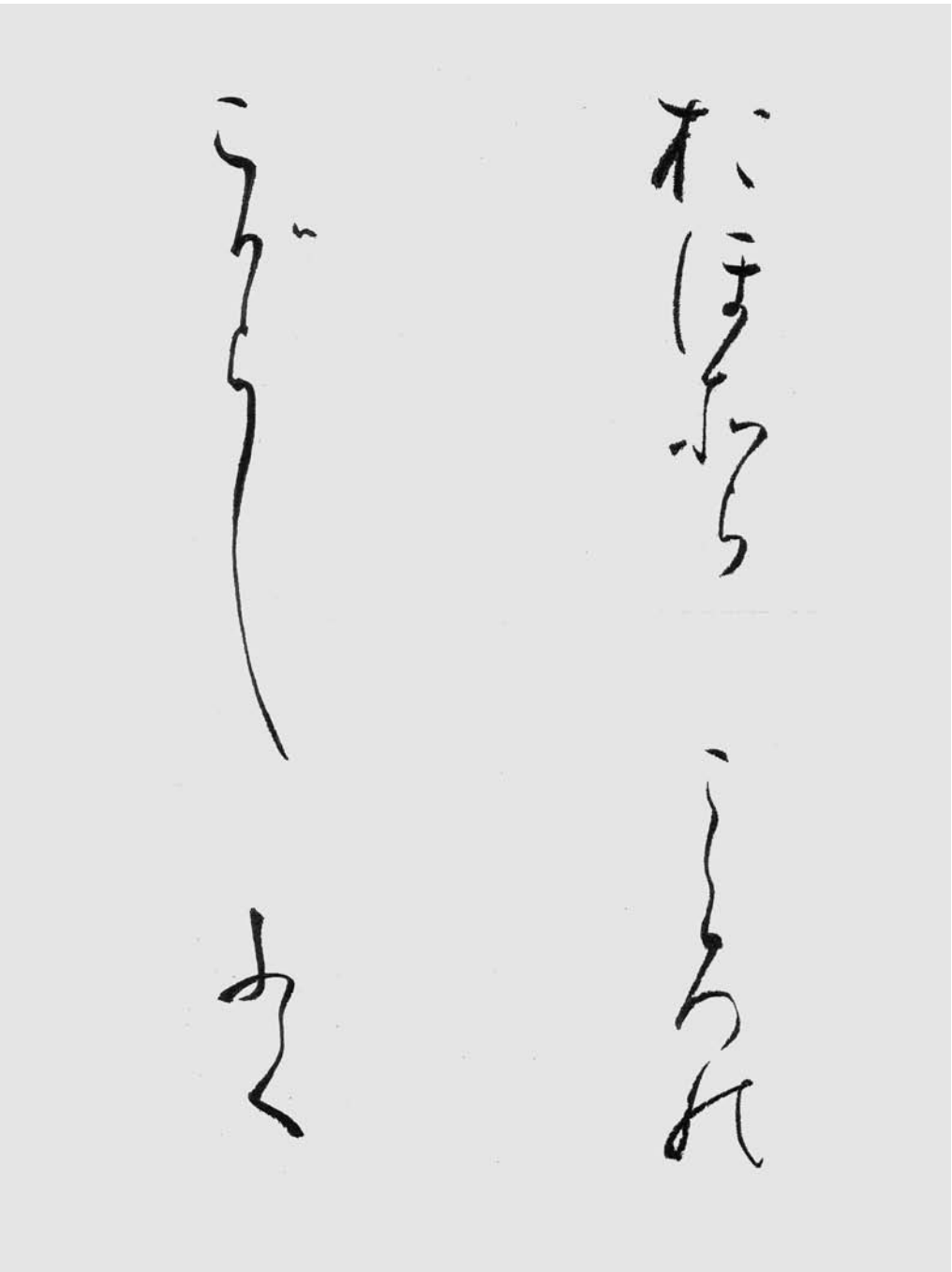
「あ(ら)し(志)」

「の(能)の(ち)の(農)」

「し(ら)雪」

仮名規定【仮規】（級位）

上條信山先生書



お(於)ほそ(所)ら
こが(可)らし ぶく
ここ(こ)ろの(能)

- ・単体で字形、筆遣いを覚えてから連綿へと進みたい。
- ・右下方へと文字が流れていくよう意識する。
- ・曲線と直線を使い分けてリズム良く書く。

「ほそ(所)ら」



「こが(可)ろ」



「こが(可)らし」



「ぶく」



謹賀新年 恭賀新年

賀正 頌春 迎春 新禧

新春のおよろこびを申しあげます

本年もよろしくお願い申しあげます

二〇二二年一月一日 令和三年元旦 辛丑歳旦

支部名 氏名

謹賀新年 恭賀新年 賀正 頌春 迎春 新禧

新春のおよろこびを申しあげます 本年もよろしくお願い申しあげます

二〇二二年一月一日 令和三年元旦 辛丑歳旦

12月20日必着

出品券を貼付

入選作のみ発表します

新禧：シンキと読む。

新年の幸福、新年の喜びの意。

辛丑…かのとうし、シンチュウと読む。

辛は十干の八つめ、丑は十二支の二つめにあたる。古くから十

干と十二支の組み合わせにより

「年」と「日」を表してきた。

【豆知識】
還暦と華甲
十干は十年、十二支は十二年の周期を繰り返すために、六十一年めに同じ組み合わせの年にもどる。これを還暦と言う。全く同じ意味で「華甲」という語もある。なぜこの語ができたかは「華」に含まれる数による。その答えは、いくつでしょうか。

【豆知識】
還暦と華甲

十干は十年、十二支は十二年の周期を繰り返すために、六十一年めに同じ組み合わせの年にもどる。これを還暦と言う。全く同じ意味で「華甲」という語もある。なぜこの語ができたかは「華」に含まれる数による。その答えは、いくつでしょうか。

漢字条幅規定【条規】

上條信山先生書

段級位を明記のこと

疾風勁草
知勁草

信山

疾風勁草（艸）を知る（後漢書）

条幅随意【条随】

内藤望山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付

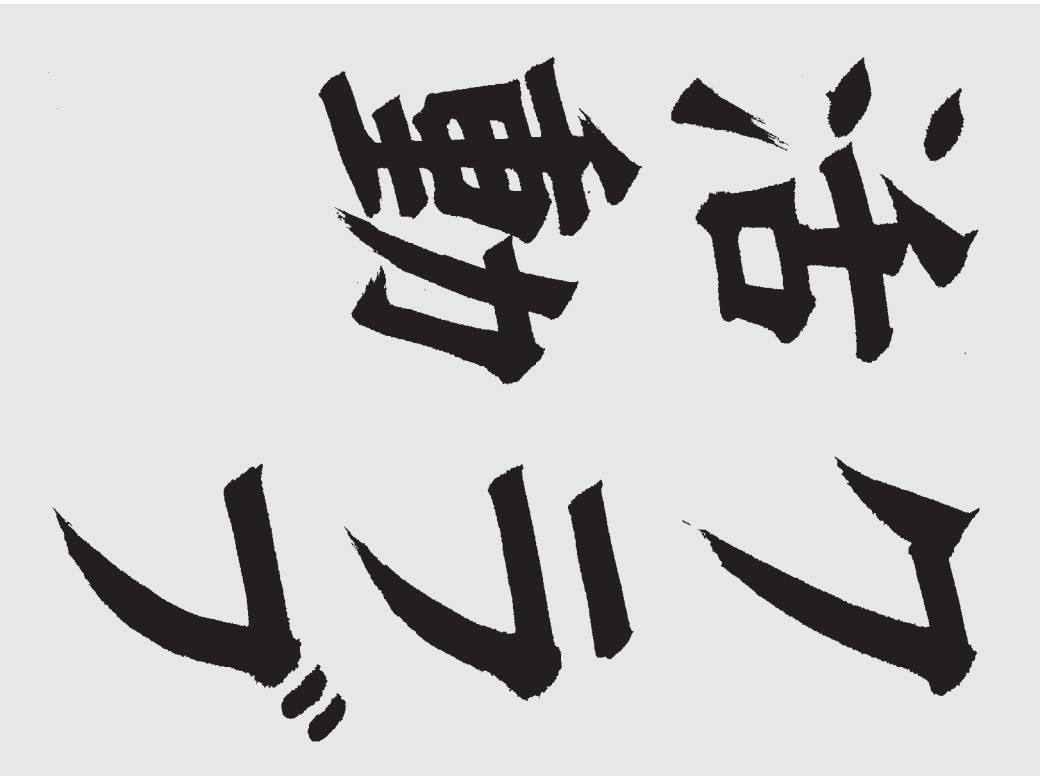
廣川王賀蘭汗造弥勒像
願令永絶苦因

望山

廣川王賀蘭汗造弥勒像願令永絶苦因

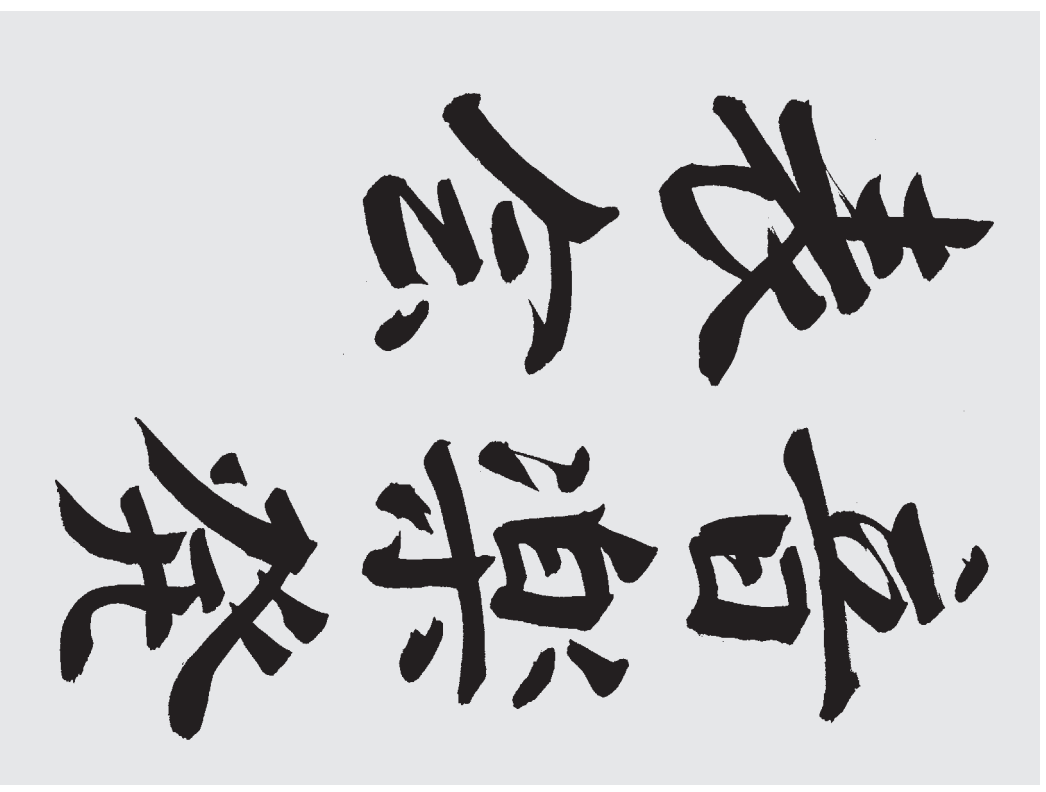
廣川王賀蘭汗。造彌勒像。願令永絶苦因。『賀蘭汗造像記』

- ・字形の左傾が北魏時代楷書の特徴である。
- ・逆筆で入筆し、筆圧を加えて鋭く連筆すること。
- ・転折はP14参照。



中学一年規定 【学毛】

山口啓山先生書



中学二・三年規定 【学毛】

二瓶嶽風先生書



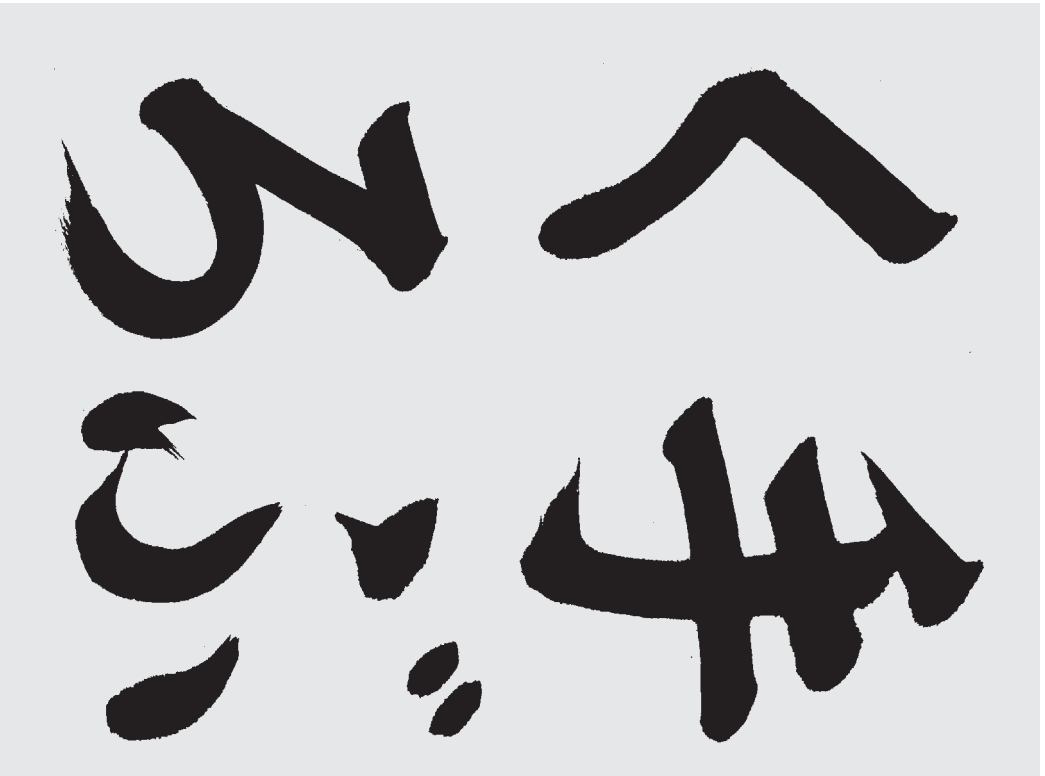
小学五年規定 【学毛】

久保妍山先生書



小学六年規定 【学毛】

荻田光山先生書



小学三年規定 【学毛】

宮本耕成先生書



小学四年規定 【学毛】

樋口玄山先生書



小学一年規定 【学毛】

坂牛静心先生書



小学二年規定 【学毛】

竹内藍山先生書

硬筆規定

一般規定【一硬】(師範・準師範・段位)

上條 信山 先生書

人はその(能) 従事する仕事に忠実でなければ(者) なら
な(那)い、その大小を問は(八)ず、いやしくも、責任
を怠るものは独立自尊の(能) 人とは言えない。

人はそれ後事すは事に忠実でなければ
な(那)い、その大小を問は(八)ず、いやしくも責任を
怠(た)らば独立自尊(とくどくじゆん)人(ひと)とは言(い)えない。

一般規定【一硬】(級位)

二瓶 嶽風 先生書

用もないのに行く、顔を出しておき、
たくなる場所がコミュニティだと僕
は思うんです。津田大介のことは

中学規定【学硬】

藤岡 月華 先生書

いくつになっても、人から学ぶことを
忘れないように、素直な心で学べば
人は成長する。

小・中学生随意課題【学随】

左の字句を半紙に書いてください。

表現自由。入選作のみ発表します。
出品券を貼付して下さい。

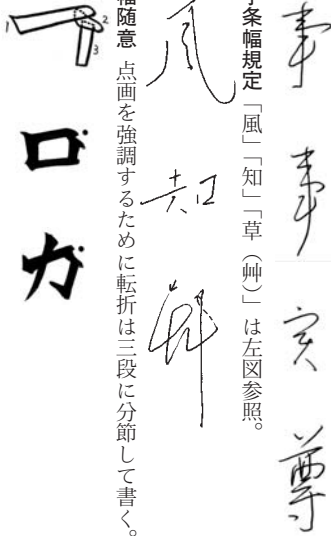
小 一・二年 学	月	小 三・四年 学	南
小 五・六年 学	青雲	中 学	練度

手本解説

・硬筆一般規定(師範・準師範・段位)「事」「事」「実」「尊」は左図参照。

・漢字条幅規定「風」「知」「草(艸)」は左図参照。

・条幅随意 点画を強調するために転折は三段に分節して書く。



学生部規定



中学二・三年



中学一年

行書では筆脈を意識し、点画の連続も連
筆に緩急をつけてリズムよく書くことを
心掛ける。始筆、終筆では丸みを帯びた
筆使いで書くようにする。「発」は左部
分の筆順を正しく書くこと。

「ク」「ラ」「ブ」三文字はそれぞれの左
払いの終筆の方向に注意する。「活」は
い(イ)の三つの点画の位置関係に注意する。
「動」は横画の方向を統一させ、偏と旁
のバランスを考えて書く。

小学五・六年規定【学硬】

柳澤玄嶽先生書

文字を美しく書くには、基
本となる点画の書き方を会
得することです。

名前

支部 年

級段

小学三・四年規定【学硬】

竹内墨洋先生書

学校で、自分たちにでき
るエコ活動は何か、全員
で考えました。

名前

支部 年

級段

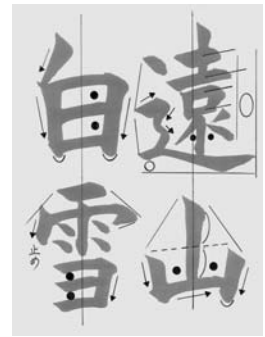
小学一・二年規定【学硬】

杉山窓影先生書

ま	の	そ	を	見	た
い	ら	ゆ	き	が	ふ
ま	し	た	。	っ	て
なまえ	支部	年	だ	き	やう

※出品券を貼付
して下さい。

一般（師範・準師範・段位）・一般（級位）・中学生はペン使用の
こと（中学生は鉛筆も可）。小学生は鉛筆使用のこと。
作品の大きさを下りたて18 cmよこ7 cm 小一・二課題↓2.1 cmのマス目
の紙を使用する。小三・四・五・六課題↓2.1 cm巾の罫線を引く。



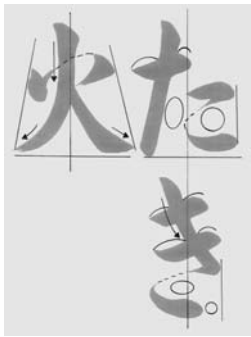
小学六年

「遠」はしんによるの二画目の筆使いに
注意。「山」は縦画の長短・折れ・画の
接し方に注意。「白」の二本の縦画はや
や内向きに書き、横画の方向を揃える。
「雪」は二・三画目の終筆に注意する。



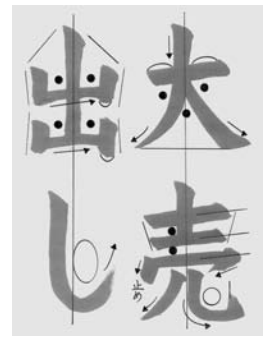
小学四年

「子」の二画目は右にふくらみを持たせ、
横画は長めに。「こ」は二画目の始・終筆
の位置関係に注意。「も」の二画目は中心
から書き出す。「会」は左右の払いをのび
やかに書き、横画を書く位置に注意する。



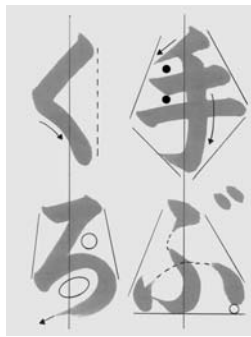
小学二年

「た」の二画目は直線で力強く書く。
「き」の三画目はやや反らせて横画との
交わり方に注意する。「火」の一・二画
目は筆脈を意識し、左右の払いを最大幅
に。



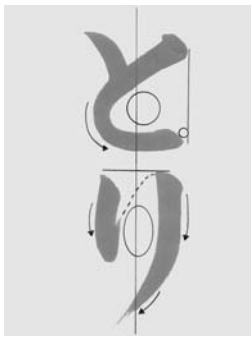
小学五年

「大」の二画目は横画と交差してから左
に向かう。「宀」の横画は一画目を長く
し、最終画の曲がりに注意。「出」の
横画はやや右上がりに書く。「し」は
書き出しの位置と払い上げる方向に注意。



小学三年

「手」は一画目の角度に注意する。「ぶ」
の外形は三角形。二画目は中心を意識し、
角度に注意して書く。「く」は中心の右
から書き始め縦長の字形に。「ろ」のま
るみは手首ではなく腕全体で書く。



小学一年

「と」の二画目は腕をしっかりと動かして、
内部の余白を広くとる。「り」は縦長の
字形を意識し、向かい合う線の方向と角
度に気をつける。

始平公造像記

太和二十二年（四九八年）

今月のテーマ

写実的臨書

大字（四字）

書き方

- ① 文字数は四字。下の4つの中より選んで書いて下さい。
- ② 落款を入れて下さい。
- ③ 作品の表左下に、支部名と氏名、又は号を鉛筆で記入して下さい。古典研究の出品券を貼付して下さい。（編集部）

〈ポイント〉

- ・ 起筆を鋭く深く入れ込み、太く強靱な線を表現する。
- ・ はね、払いが最後まで力を抜かず大胆に。
- ・ 左払いを長く強調したり、縦画を少し傾斜することでアンバランスな文字構造をとる。
- ・ 線の圧倒的な強さ、太さで文字中の空間をうめるように書きたい。



則

大

千

斯



暨

于

大

代



咸

同

斯

願



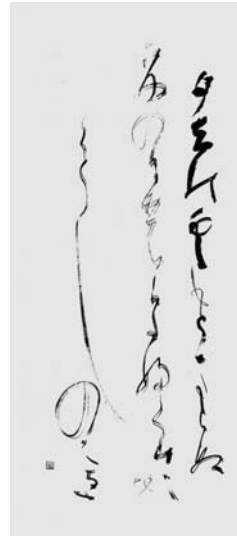
率

渴

誠

心

「書業六〇年記念上條信山作品集（一九八九年）」その4



①『式子内親王のうた』

①式子内親王のうた（一九八六年）縦一三八cm 横五九cm
 〈かなり大胆。驚きの「の」〉

仮名を尾上柴舟先生から薫陶を受けたということはよく聞く話だが、これはまさに完全に信山流のこなである。行立ては、前半二行とやや空間をあけて後半一行ということだが、ほぼ一つの字群となっている。出だしに墨がついてはいるが、そのまま一気に終わりまで書き上げており、途中での墨継ぎはない。気脈の貫通である。渴筆の息の長さ、後半の「しの」の大胆な長さど大きさには呆れる（失礼）くらいにビックリである。勁く伸びやかな味わいに思わず惚れてしまう。

②節臨孔宙碑（一九八三年）縦二二八cm 横五三cm
 〈臨書が先か、創作が先か〉

一九八三年松本市民俗資料館での第三回上條信山展に出品した信山バリ隷書。白楽天詩「琵琶行」同様に雰囲気はよく似ている。臨書か創作かの違いはあるにしても、どちらの作品が先に仕上がったのか、当時お手伝いをされていた先輩に伺ってみたい。行間をやや広めに取り、波瀾の伸びやかさを最大限に活かすための空間処理が憎い。決して急がずにゆったりと丁寧な運筆により、線に豊潤さが見られ、心に安らぎを与えている。『曹全碑』の味わいに共通するものがある。

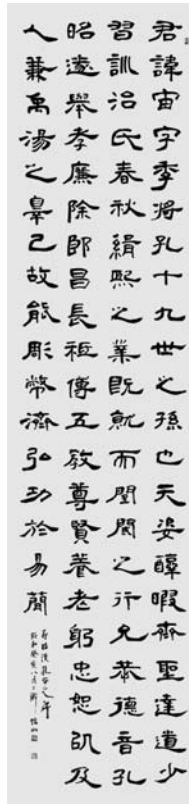
③『不愧于天』（一九七八年）縦二一三cm 横六五cm
 〈邪鬼の踏ん張り〉

まず、「不愧」の紙面全体に対する配分に注意したい。この二字に作者は重きを置いていることが推察できる。自信漲る気力の充実を天下に示したいという気持ちに溢れていることが良く伝わってくる。画数の少ない字は作品を作る上では難しいと言われている。下部二字が押し潰されそうだが、何とか踏ん張っている。仏像の足元で踏まれている邪鬼を彷彿とさせる。二つの右払いと三つの左払いに工夫が凝らされ、どっしりとした厚みを感じさせる。

（副理事長 二瓶嶽風）



③『不愧于天』



②『節臨孔宙碑』

官邸に飾られる田中節山先生の「隆熾」

二〇一五年に日展を通じて作品掲額の依頼があり、田中先生の「隆熾」(第五回書象展出品作品)が首相官邸に飾られることになりました。本年十月六日の読売新聞に掲載された菅首相インタビュー記事の写真には、中央に墨痕鮮やかな「隆熾」の二文字が輝いています。二〇一六年書象誌二月号で紹介しましたが、同年一月の長野県「南信州新聞」に、作品が収蔵された経緯や田中先生ご夫妻が官邸を訪ね安倍晋三前首相と歓談した様子が掲載されました。ご紹介いたします。

田中さん首相官邸に書贈る

— 中学で首相に国語教える —

喬木村伊久間出身書家で、同村ふるさと大使の田中節山さんが、首相官邸(千代田区)を訪れ、教え子の安倍晋三首相に自ら手掛けた書「隆熾(りゅうし)」を贈った。寄贈した書は官邸内に飾られている。

田中節山書「隆熾」

首相官邸収蔵作品



菅首相インタビュー(読売新聞)

田中さんは大東文化大を卒業後、成蹊中学・高校の教諭となり、安倍首相の中学三年間は国語を教えた。「おとなしい生徒で、勉強は一生懸命だった。剣道にも打ち込み、グループを大事にしていた印象がある」と当時を振り返る。

日展を通じて官邸から作品寄贈の依頼があり、「頑張っている姿が重なり、応援したい言葉」として作品に「隆熾(りゅうし)」の二文字を選んだ。

隆熾は、中国晋代(西暦三〇〇年代)の謝靈運の「山居賦」の詩中の語で、赤々と燃え盛る火のように物事に強い姿勢で対処していくなどを意味する。

「今に生きる精いっぱい姿を筆にのせ、文字の中に表現できたら」。そんな思いを込めてしたためた。作品は自ら会長を務める書象会に対する思いにも重なり、昨年の第五回書象展に出品されている。

昨年末、田中さんは妻とともに官邸を訪ね、安倍首相と二〇分ほど歓談した。作品の構想や出典、意味、作品に込めた思いなどを伝え、田中さんが任命されている書写・書道教育推進協議会や、日本書道(書き初めを中心として)ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会委員に触れると強い関心を示したという。

また、安倍首相の中学時代に話が及ぶと、「にこやかな表情で当時を懐かしむ姿も見られた」(田中さん)。対面するのは、二〇〇六年の第一次安倍内閣発足後、成蹊の関係者らによる激励会以来といひ「久しぶりの再会だったが健康を取り戻し、元気な姿を見ることができてうれしかった」と話した。

田中さんは、大東文化大の名誉教授で、全国書美術振興会常任理事や全日本書道連盟常任理事、書象会会長などを務める。一四年には喬木村のふるさと大使に就任した。

(二〇一六年一月二日)

「書象かな会」講習会

期日 十月四日(日) 二回目
会場 武蔵野公会堂
講師 中村巍山先生 坂牛静心先生

新型コロナウイルス感染拡大が懸念されていたため延期されていた「かな会」の講習会が、九月六日に続いて二回目を迎えました。古筆の臨書や「信山流かな」、そして調和体なども学ぶコースです。講習会は十一月と十二月に各一回の予定です。参加者の方から講習の様子や感想などをお聞きしました。

古筆と信山流を学べる嬉しさ

四月から開催予定だったかな会の「講習会」が新型コロナウイルス禍のため延期となり、九月から十二月までの毎月開催となりました。そして待ち望んだ初日は、「いよいよ楽しみにしていたかな会が始まるぞ!」と嬉しい気持ちでいっぱいになりました。その嬉しい気持ちには回を重ねることに深まり、毎回楽しみに参加しています。



熱心に学習する受講者の皆さん



半紙作品の指導に注目



半切は腕を大きく動かして!



受講者の半切作品が貼られ批評を受ける

講習会は、学習してきた課題を提出。全員分が前に並べられ、中村先生が「この線はいいね。信山先生の線とそっくりだ。ただこの名前と落款の位置は:」というように一人ひとりの良い点、悪い点をわかりやすく説明してください。そして課題が古筆(粘葉本和漢朗詠集)の臨書と、その同じ一首を上條先生が書かれたお手本でも臨書するという、古筆と信山流かなの両方を基本から学習できるのも大変魅力的でやりがいがあります。これからこの基本をふまえ作品づくりまで、中村先生、坂牛先生ご指導のもと、少しでも成長できるように頑張ろうと思います。(佐藤 茜沙記)

あつという間の充実した三時間

『かなを勉強してみませんか? 「信山流かな」はもちろん、古筆の臨書や調和体なども学びます。』との会員募集の記事に、今まで疎かだった古筆の勉強をしてみたいと思い、「書象かな会」に入会しました。「かなを勉強すると漢字の流れも良くなるから」と日頃より御指導いただいている内藤先生のアドバイスもあり、続けて受講しています。講師は中村巍山先生と坂牛静

心先生のお二人。十月四日の受講生は一九名でした。初回の冒頭に巍山先生より「信山先生は伝藤原行成の粘葉本和漢朗詠集の書風を徹底された尾上柴舟先生から直接ご指導を受けられたこと、更にはかなの基礎を行成流で鍛えられ、それが信山先生の漢字の力と混じり合って「信山かな」になっていること」など「信山かな」の原点のお話がありました。講習の内容は、粘葉本和漢朗詠集のほかに半紙の月例の仮名規定や条幅隨意課題などで、その講習では巍山先生の厳しいながらもユーモアも交えた御指摘で堅苦しい雰囲気にならず、三時間があつという間に終わります。残り二回の講習となりますが、宿題はぜひ少なめでお願いいたします。(佐藤 京香記)

松本小光卒寿書展 くいのちの歌

会期 十月十三日(火)～十八日(日)
会場 銀座大黒屋ギャラリー16F

今年九十歳を迎える松本小光先生の卒寿書展が、金木犀の香り漂う十月十三日に幕を開けました。コロナ禍の心配の中でしたが初日から会期中の六日間、大勢の方々がお越し下さいました。感謝と感激の気持ちで一杯です。卒寿書展のために先生が用意されたのは、生涯の師である上條信山先生の作品が二点と、小光先生御自身の作品が二十七点。一昨年の日展入選作品「奥の細道」や長い間書き続けてこられた「いのちの歌」が数点、この日のために書き上げた新作が数点でした。その中で来場者の目を惹いていたのが、コロナの収束を祈って書かれた「明けない夜は無い」という作品です。吉川英治が子供のころに何度も母親から聞かされた言葉だそうです。作品からは、この厳しい時代から一刻も早く抜け出してほしいと願う先生の祈りの気持ちが滲み出ていました。

書展では、九十歳とは思えないほど意欲的で大胆、そして繊細な作品に多くの方々を胸を揺さぶられたようですが、山口啓山先生が帰りに話して下さいましたお言葉が印象的でした。「書道は書いているうちに突然、これだというピークが現れるんです。それを絶対に見逃さないこと！今日、改めてそのことを強く感じました。」

素晴らしい恩師と良き仲間にも恵まれた先生だからこそ、こんなに長い道程を歩き続けることができたんですね。新米弟子の私は、こうした場に初めて参加し、書を求める人々の優しい心に触れた思いがしました。

(佐藤威一郎記)



じっくりと作品をご覧になる山口先生



卒寿記念の作品の前で



落ち着いたある会場風景



第9回高風書道会展

会期 十月九日(金)～十一日(日)
会場 ギャラリーたにくち(福井市)
主宰 畑中高山

コロナ禍で多くの書道展や催し物が中止や延期になる中、あえてこの閉塞感を打開すべく開催に踏み切りました。例年だと読売展や泉展の作品に集中すべきところ、社中展の作品に励むことができたのは幸いでした。改めて目標のある練習の大切さを実感できました。会場では除菌対策をして、多くの観覧のお客様をお迎えしました。

今回は、無鑑査の胴切四角作品十点を中心に、会員のレベルに合わせた半切から二尺×八尺の作品。また宮島詠士の習作作品を展示しました。詠士、信山、そして私たちと続く書法の伝承をアピールし、紹介することもできたと思います。整然と陳列された会場は、明るい雰囲気好評でした。県内はもちろん、遠く大阪から藤澤珠玉先生とお教室の方々もお越しいただき、会員一同大感激。充実した会期となりました。

(山田白葉記)



じっくりと鑑賞する来場者



畑中先生を囲んで記念撮影

藤森博士の漢字表記にも申す⑱

書道学博士 藤森大節

大学で書写の授業を担当しているのですが、毎年驚かされることが2つあります。1つ目は筆記具の持ち方です。特に硬筆の持ち方の乱れは顕著で、毎年四十名ほど学生がいる中で正しい持ち方ができているのは僅か数名程度です。かえって毛筆の方が正しい持ち方で書けています。扱いづらい毛筆だからこそ、正しい持ち方で書かなければならないという意識が働くのでしょうか？

2つ目は筆順です。漢字に限らず、ひらがなやカタカナでもこちらの想像を上回るような筆順を時々見かけます。そう言う私も昔は筆順に関して無頓着で、随分勝手な書き方をしていました。その反省を踏まえて生徒達には、「先生が間違った筆順で書いていたら話にならない」と力説しています。私の場合は書を学ぶことで筆順に対する理解が自然と深まり、その大切さに気づくことができましたが、その一方で、正しい筆順とされるものにも「おや？」と感じるものがあります。

ここでいう「正しい筆順」というのは一般的な筆順の原理、原則に基づいて作成された『筆順指導の手引き』に示されたもので、小学校で習う筆順はこの『手引き』に則っています。筆順は文字を書く過程の学習であり、書きあがった文字の形も左右するため「無頓着」ではいられません。(続く)

現代臨書大系

……第三卷 中国Ⅲ

北魏・隋

〈北魏・始平公造像記〉

内藤望山

3回目の今回は、内藤望山先生が龍門造像記の中の始平公造像記の四文字を大胆剛健、覇気に富む気性で書かれています。古典研究シリーズ(16P)の作品制作の参考にして下さい。



於上齡遺形敷于下葉暨于大代茲功厥作比

印象的臨書



〈自解〉
素朴な印象をさらっと書いた。

写實的臨書



〈自解〉
運筆に刀意を加えて骨力のある写実を試みた。

表現的臨書(A)



〈自解〉
筆圧の変化を加えて、線の動きと深さを追ってみた。

※表現的臨書(A)
線質に主観を加える

※表現的臨書(B)
形に主観を加える

表現的臨書(B)



〈自解〉
形体に大小、線に長短の変化を加えて一気に書いてみた。

表現的臨書(A)



〈自解〉
細い線で空間を明るくのびのびと書いてみた。

書象会通信条幅研究会課題の解説（令和二年十一月～三年一月まで）

信山流



信山流行書を学習する最適な課題です。減り張りを効かせ、豊潤流麗に書かれています。一画一画切るのではなく、空画を意識して行意のある運筆を心掛けてください。肩の力を抜き、力まず軽快に筆を運ぶことが大切です。

※空画＝筆が次の線を書く為に、いったん紙上を離れて中空を動いた軌跡。

窓…二画目から流れるように一気に書き上げる。図版参照。

外…左右への広がりを意識して書く。

月…背勢を意識し、伸びやかに運筆させ見せ場をつくる。

如…「月」の最終画から「如」の一画目は一気に続き、滑らかな運筆を心掛ける。

霜…文字構造を広くとる。

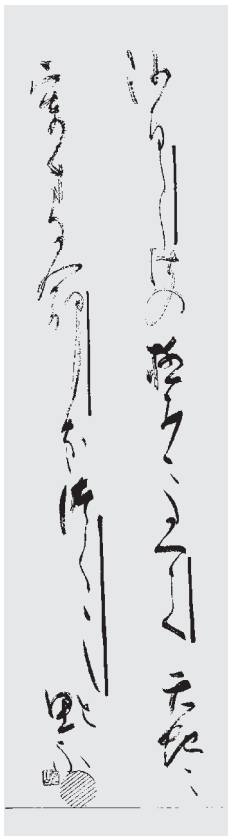
隷書



太く書こうとすると、どんどん字が大きくなってしまふ。そうならずに線に太さ、ボリユームを出すコツがあります。

たとえば「日」という字を書いてみる。横画の三本を見れば、上から順番に、線、空間、線、空間、線の構造になります。この空間を思いきりつぶしてみることで、今回の手本、サンズイでも、「湧」の「田」や「力」でも、空間に対して圧倒的に線の太さが勝っています。筆で三本の線をほとんどくっつけて書いても、二本に見えたり四本に見えたりすることはありません。大胆に書いてみましょう。もちろん、ここぞというポイントにはゆったりとした空間を用意しておく必要もあります。

仮名



今回の仮名条幅は潤渴の変化に注目しましょう。

そして各行の振幅にも気を配りましょう。

- ・四ヶ所の——印の部分、空間の広さ、長さの違いに気をつける。
- ・流れを失わずに自然に表現出来るよう練習を重ねる。
- ・二行目は一行目より下で終わらないようにおさめる。

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

念願の特待生



有象虹支部 中三
生 形 真里奈

私は、小学一年生から習字を習い始め、目標だった特待生になることが出来ました。合格の通知を聞いた時、とても嬉しかったです。また、合格をサポートして下さった先生、家族に心からありがとうございますを伝えたいです。
支部長先生より一言 合格おめでとう//書道、剣道と共通する精神を生かし、感謝の気持ちを忘れず次の目標に進んで下さい。

感謝



中野支部 中三
藤 木 聖 也

僕は、小学一年生の時から習字を始めました。今までコツコツ努力を積み重ねて、目標である特待生になることができました。これまでご指導してくださった先生、家族のおかげです。ありがとうございます。
支部長先生より一言 聖也君おめでとう「継続は力なり」ですね。次の目標に向かって頑張ってくださいね。

喜悦



霞墨支部 中三
佐久間 愛 唯

幼稚園の頃から習字を始め、今までの約八年間の努力が実り、特待生になることができました。この教室で学んだことを今後の生活で活かしていきたいと思えます。
支部長先生より一言 小さい頃から明るく、人一倍努力をする姿はバスケでも、書道でも同じです。心からおめでとう。

今度は硬筆!



名東支部 中二
高 須 大 知

僕は、小学校一年生の頃から習字を始め、目標にできた特待生になることができ、とても嬉しいです。また一から熱心に教えてくださった先生にとても感謝しています。硬筆も特待生になれるよう頑張りたいです。
支部長先生より一言 特待生合格おめでとう//先生も嬉しいです。最後ねばり強く頑張りましたね。硬筆もあと少しですね。

念願の二冠



サン支部 中二
松 尾 知 聖

ついに念願の二冠達成できたこと、感謝します。月に一度という環境の中で、硬筆合格、続いて毛筆合格、二冠達成までたどりつけたのは祖母でもある先生のお陰です。これからも精進します。
支部長先生より一言 合格おめでとう。頑張りの成果ですね。特待生に相応しい文字を書き続け更なる向上を期待します。

感謝して



虹友支部 中三
白 井 ま み

習字を習い始めて約九年。礼儀作法や書くことの楽しさを感じながら、念願だった特待生になることができました。先生、ありがとうございます。毛筆も頑張ります。これからもご指導よろしく願います。
支部長先生より一言 クラブ活動で多忙の中でも休まず頑張りました。真面目で家族の愛を一身に受け成長されています。

感謝



虹友支部 中二
手 島 由 結

習い続けて良かったと思えるこの習字。書くことの楽しさ、そして、礼儀まで教えて下さり念願だった特待生試験に合格することができました。勉強も忙しいですが次は、毛筆も合格できるように頑張ります。
支部長先生より一言 しっかり者の由結ちゃんです。きっちりと自分自身を持って行動します。作品も力強く遅しい限りです。

二冠達成



有象虹支部 中三
飯 田 怜 奈

私は、特待生になるということを目指して頑張ってきました。今回、硬筆も合格。二冠達成することが出来嬉しく思います。今までご指導してくださった先生、家族の応援にとても感謝しています。ありがとうございます。
支部長先生より一言 書象誌の写真版。各書展にも選ばれ活躍の怜奈さん。教室の模範生!!これを基に更に向上して下さい。

先生に感謝



名東支部 中三
山 本 愛 美 梨

特待生になるという目標を達成できて嬉しいです。これまで指導していただいた先生のおかげだととても感謝しています。これからも上達できるように頑張りたいです。
支部長先生より一言 愛美梨ちゃん、合格おめでとう。引っ越しして遠方になっても継続。送迎してくれたお母様にも感謝!!

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)



喜ひ

名東支部 中三

永原 佐久弥

引越して、一年間ブランクがありました。御指導してくださった先生に感謝したいです。ありがとうございます。支部長先生より一言 特待生合格おめでとう!!小四の時に編入で入会してから、野球と勉強で忙しい中も頑張ってきました。

感謝と努力

中野支部 中三

竹内 春音

私は小学二年生から書道を始め、特待生になることを目指して頑張ってきました。なかなか上手くいかないこともあったけれど、先生方の熱心な指導のおかげで特待生になることが出来ました。ありがとうございます。支部長先生より一言 合格おめでとう。ピアノ、ダンスと忙しい中よく頑張りました。今度は師範をめざして頑張ってね。

感謝

久喜支部 中三

池田 心

小学校三年生から始めた書道。六年間の努力が実を結び、とても嬉しく思います。書道の楽しさを教えてください。支部長先生より一言 二冠達成おめでとうノ部活との両立で厳しい時間の中、よく頑張りました。今後の活躍に期待します。



合格!

若竹支部 中三

神谷 未来

書道教室に通い始めて五年、硬筆でも目標だった特待生に合格することができて本当にうれしいです。納得のいくまでいいねに指導して下さいました。先生方から感謝しています。ありがとうございます。支部長先生より一言 目標だった二冠達成おめでとう。先生も嬉しいです。粘り強く頑張りました。今後の活躍が楽しみです。

学ぶことが沢山ある

虹苑支部 中三

槌屋 雄大

毛筆の特待生になってすぐに硬筆の特待生になることができてとても嬉しいです。いつも丁寧に指導をして下さった先生ありがとうございます。まだ苦手なところ知らないところも沢山あるので学んでいきたいです。支部長先生より一言 二冠達成おめでとう。寡黙な雄大君。力強い文字を表現します。「書は一生の宝」。更なる飛躍を!

二冠達成

名東支部 中三

黒田 千尋

習字を習いはじめて約8年。硬筆でも特待生になることができ、ようやく二冠を達成できました。先生から特待生試験の結果を聞いた時、本当に嬉しかったです。これからも、もっと上達できるように頑張りたいです。支部長先生より一言 二冠達成おめでとう!!お手本に忠実になるよう努力を重ねてきましたね。今後も更なる上を目指してね。



やりがい

正桂支部 中三

山崎 琴音

私が目標にしていた特待生になれたことがとてもありがたいと思います。先生のご指導のもとに教えていただいた書道はやりがいを感じます。特待生になったからはさらに上を目指し目標を高く持ち頑張っています。支部長先生より一言 幼かった琴音さんが書道にやりがいを感じるまで心身共に成長した事にとっても感動しています。

目標だった特待生

瑞祥支部 中三

大鹿 瑤子

私は小学校一年生から書道を始め、今回、始めた当時からずっと目標だった特待生に毛筆、硬筆共になることができ、とてもうれしいです。これまでご指導いただいた先生や、続けさせてくれた親に感謝したいです。支部長先生より一言 素晴らしい集中力で二冠達成は見事です。おめでとうノ次の目標に向けても、自信を持って頑張って!

感謝

飯山支部 中三

森 ひかり

小学生のころから習ってきた習字で、やっと特待生になることができました。これは、一生懸命に指導して下さいました先生、ここまで続けさせてくれた親のおかげです。本当に感謝しています。ありがとうございます。支部長先生より一言 合格おめでとう。いつも真摯に向き合い頑張った結果ですね。自信を持ってこれからも取り組もう。



△漢字条幅▽ 評 杉山 曉雲

高橋太一 執筆が安定して力強い筆

田島涛仙 リキみなく伸びやかに筆

嶋壁壺玉 筆が立ち正確な逆筆法を

齋田昌静 強弱の変化が程よく、雄

岡村双枝 大ぶりの筆か、同じ太さ

飯沼祥映 肘を張って腕法が豊かに

藤牧峰雪 切れ味抜群、鋭い線がと

片岡珠松 ても小気味よい。

たて長の構造で流れのよ

い作品である。

△条幅随意▽ 評 二瓶 嶽風

島 谿暉 齒切れの良い線と流れる

島村霞苜 リズムが美しい。

泉澤禾苑 大胆な墨色の変化が深み

筆が効果的。

△通信条幅▽ 評 樋口 玄山

山崎憬泉 逆筆がよく効き骨力の強

高田霽楓 さあり。

野口虹汀 やや小ぶりだが線質に強

格で優雅。



基本課題

評 小室 墨汀

静 翠 端正な点画で結構の正確さが光る。
 京 香 丁寧な運筆で腕法を効かし、安定感秀逸。
 花 仙 墨量豊かで内に力を秘め外に骨力を見る。
 静 秀 線に余韻を感じ、紙面の空間処理も見事。

研究課題

評 小川 仙草

上條恵香 重厚な線で懐広く動きも大きく秀作。
 小林真志 線に伸びあり、上品で魅力ある作。
 下平成苑 リズムある運筆で筆勢もあり行間美しい。
 朝見汐影 渴筆が利いて濃淡の変化あり、爽快な作。

古典課題

評 二瓶 嶽風

大村玻玉 鋭角的な切り込で特徴を見事に捉えた。
 松岡馨秀 伸びやかな線で雄大に書き上げた秀作。
 林田翠山 逆筆を効かせた強さと動きは流石だ。
 川本敦子 含墨豊かで重厚沈着に仕上げた。

師範部

△行書▽

評 樋口 玄山

西村雪園 行意を持ちながら楷書の確かさあり。
 小西琴月 軽快な運筆でも太さを失っていない。
 藤澤竹虹 落款の美しさは抜群。
 小島紫草 渴筆部の強さは腕の動きの大きさによる。
 佐藤江憲 大小長短の変化が自然に行われている。
 近藤静志 各文字の形の正確さはみごと。
 今井華遥 各文字が独立せず美しい流れあり。
 小池峰弦 筆の毛が立ち紙背にくい込む強さあり。



川島映雪 運筆に停滞なし。大胆な筆致が心地よい。

山田白葉 起筆収筆の安定感は錬成の成果。

篠塚葉暁 墨色、潤濁の変化が美しい。

中島泰薫 余白の明るさが印象的。

川田李江 強さ、甘さ、併わせ持つ佳作。

大島紗光 鋭い線だが、墨量の豊かさで和らげられた。

神田澄江 行の流れに少しのブレもない。

日比野照悦 柔らかな筆を駆使し、ふくよかな表現。

△仮名▽ 評 田中 珠光

宿谷硯心 凛とした美しい線質で引き締まった作。

安藤小映 仮名らしい優しく柔らかな線が美しい。

川島映雪 伸び伸びとした作品で潤濁が見事。

横山京節 豊かな線が全体を暖かい作品にした。

佐藤西沙 渴筆の効いたメリハリのある作。

増山静敬 濃い墨で書かれた強い作品となった。

高平光紗 形を良く研究され錬度の高さが伺える。

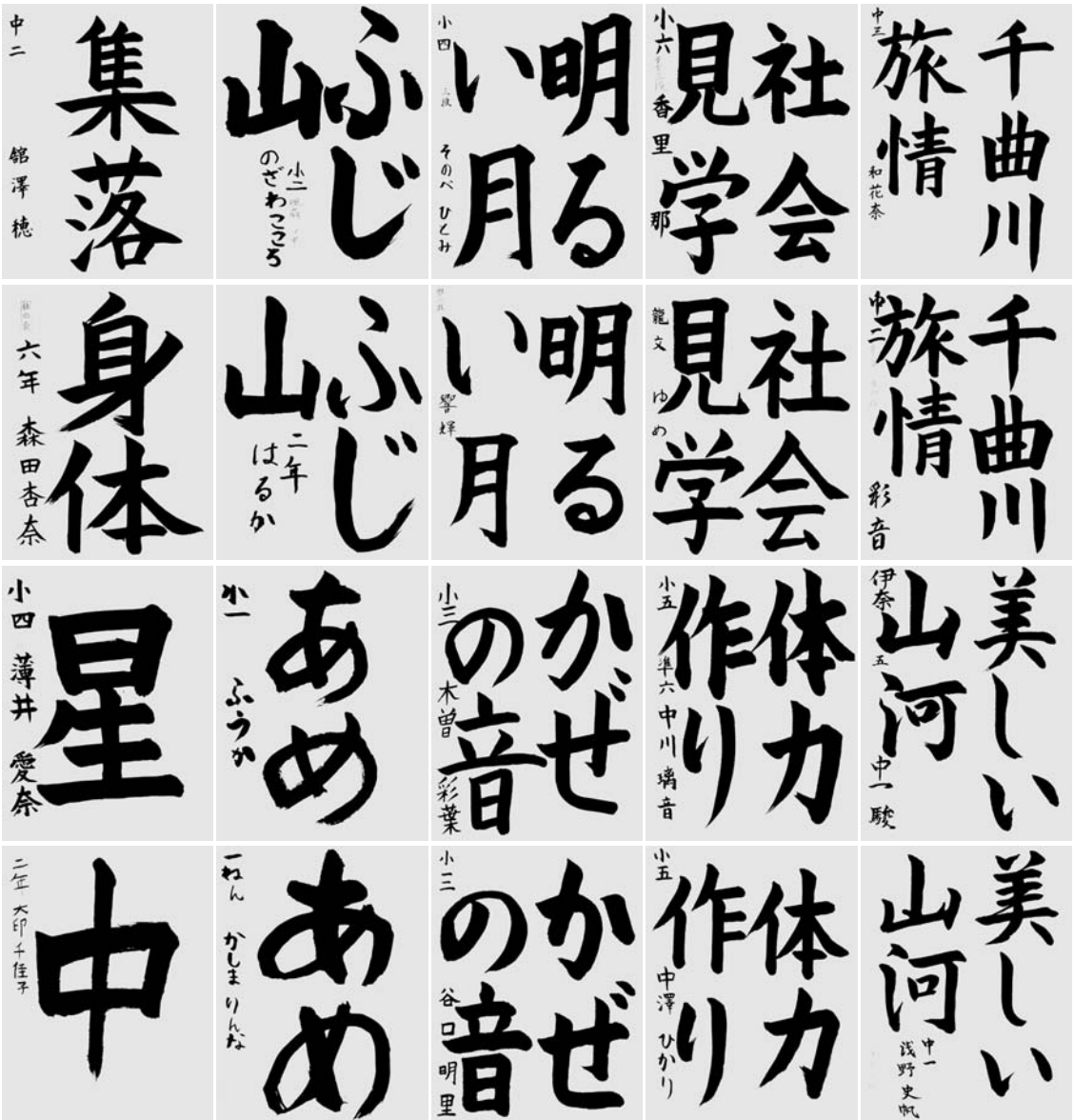
大形涼華 太さのある作品、渴筆の軽妙さもよい。

小松雅子 強い線で動きのある作となっている。

和田藍川 一字一字を大事にしてうまくまとめた。

北原光水 ゆったりとした運筆で伸びやか！

高島美知子 引き締まった線が全体の緊張感を生んだ。



学 生 部

評 大澤 梢光

三原和花奈 字形、線質ともに大佳。
 江良彩音 豊かな線でのびのびと書けた。
 茂呂 駿 漢字、ひらがなをうまく調和させた。
 浅野史帆 落ちついた線でゆったりとしている。
 柳内香里那 堂々とした作品になった。
 古内ゆめ 一点一画丁寧に仕上げている。
 中川璃音 ポリユームある線で豊かな作。
 中澤ひかり 真面目な学習態度がうかがえる。
 園部仁弓 難しい課題をよくまとめた。
 佐々木響輝 丁寧な書きぶりでおちついている。
 木曾彩葉 スケールの大きな雄大な仕上がり。
 谷口明里 しっかりとした筆づかい立派です。
 野澤心結 動きのある元気な文字になりました。
 宮脇 遥 お手本をよく見て書いていますね。
 三浦楓花 つよさのあるよい字がみごとです。
 加島りんな 本文もなまえもしっかりかけました。

半紙 随意

評 中内 真意

銘澤 穂 ていねいな筆使いで美しくできました。
 森田杏奈 一点一画気持ちの入った強さがみごと。
 薄井まな 太い線でどうどうと書けてりっぱです。
 大印千佳 心をこめて力づよくかきました。

このページに掲載された人には書象会より記念の筆をさし上げます。

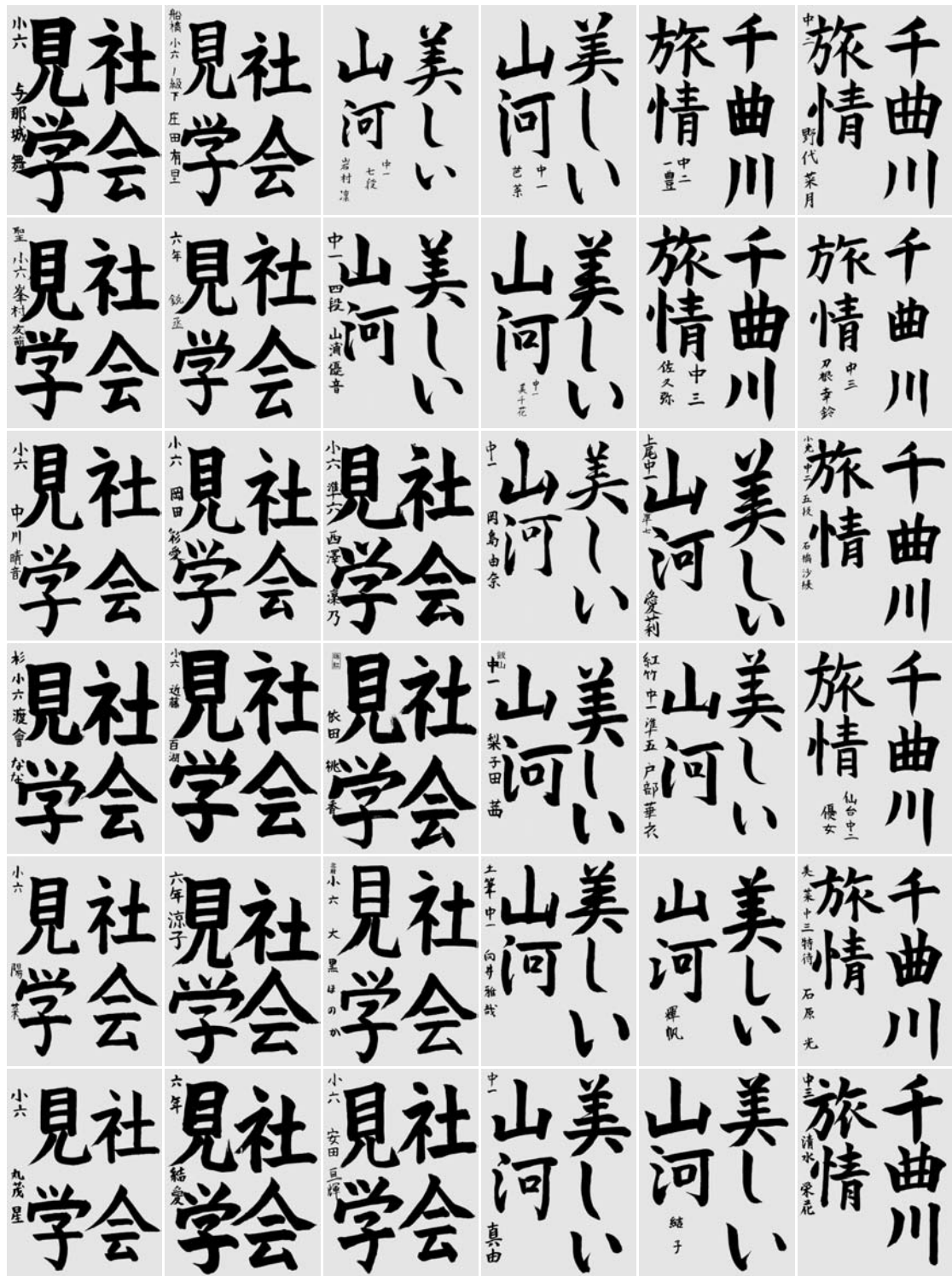
		土筆 江崎源太	薩埵			初	波羅蜜 多故心			芳森 半四段 鎌倉所伝	波羅蜜 多故心
		三月 三友	薩埵			五月 鈴本 一之	波羅蜜 多故心			五月 鈴本 一之	波羅蜜 多故心
		右文 四段 琴美	薩埵			名東 特二 山田純寧	波羅蜜 多故心			田美	波羅蜜 多故心
		五月 齋藤 可奈美	薩埵			有兼 三友 櫻米	波羅蜜 多故心			主心 半五 加代子	波羅蜜 多故心
		尚社 大矢 俊奈	薩埵			若松 一級 片山 雅子	波羅蜜 多故心			名東 二級 大津 彰	波羅蜜 多故心
		小丸 七級 井上 和江	薩埵			四谷 一級 柳 洋子	波羅蜜 多故心			半二 由 各里	波羅蜜 多故心

〔行書〕 高風 岩井保乃歌 練馬 鈴木 ころ 碩雲 佐藤 芹香 玄心 齋本 加代子 華雪 齋木 祐菜 柏心 北原 典子 樺森 鎌倉 師竹 秀雪 横倉 由泉 成城 中村 橙泉 有象 渡邊 彩 名東 大津 里 石峯 唐津 由香里 杜会 中山 正一 茅野 真道 陸

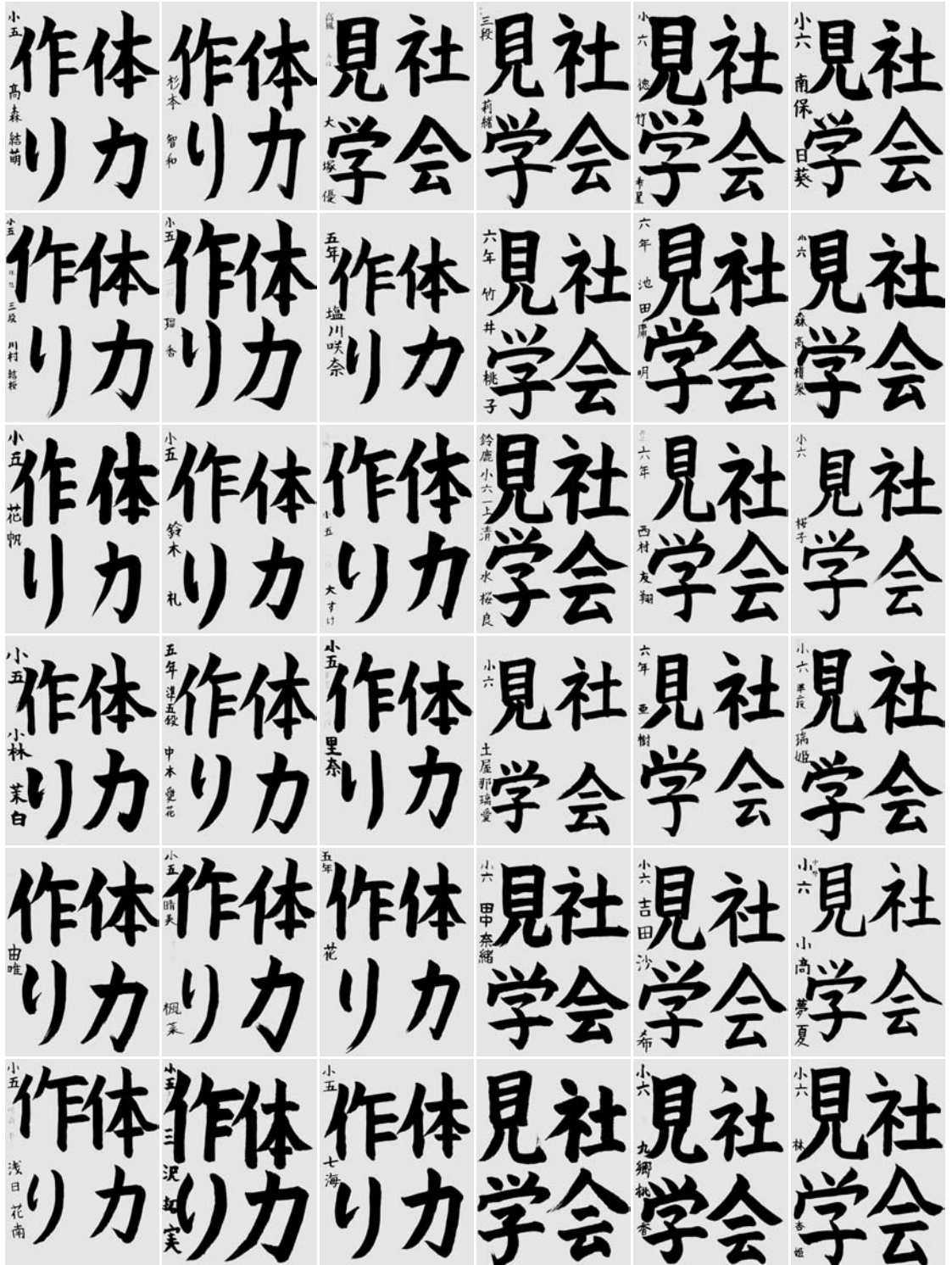
〔級位〕 名東 山田 純寧 若松 鈴木 ころ 静 鈴山 雅子 四谷 柳 洋子 土筆 江崎 源太 石峯 阪田 涼太 右文 澤村 琴美 美五 齋藤 可奈美 高社 井上 和江 小光 井上 和江

〔段位〕 北府 吉富 慶子 樺森 征矢 野碧空 珠悠 半田 菜穂 玄樸 和田 千代 司峰 大西 雅子 曉月 唐木 曉世 竹華 柿沼 有希 笠原 山崎 里奈

〔級位〕 静 鈴木 くら 小光 曾我部 真季 麗墨 門倉 奈々美 山愛 渡倉 久美



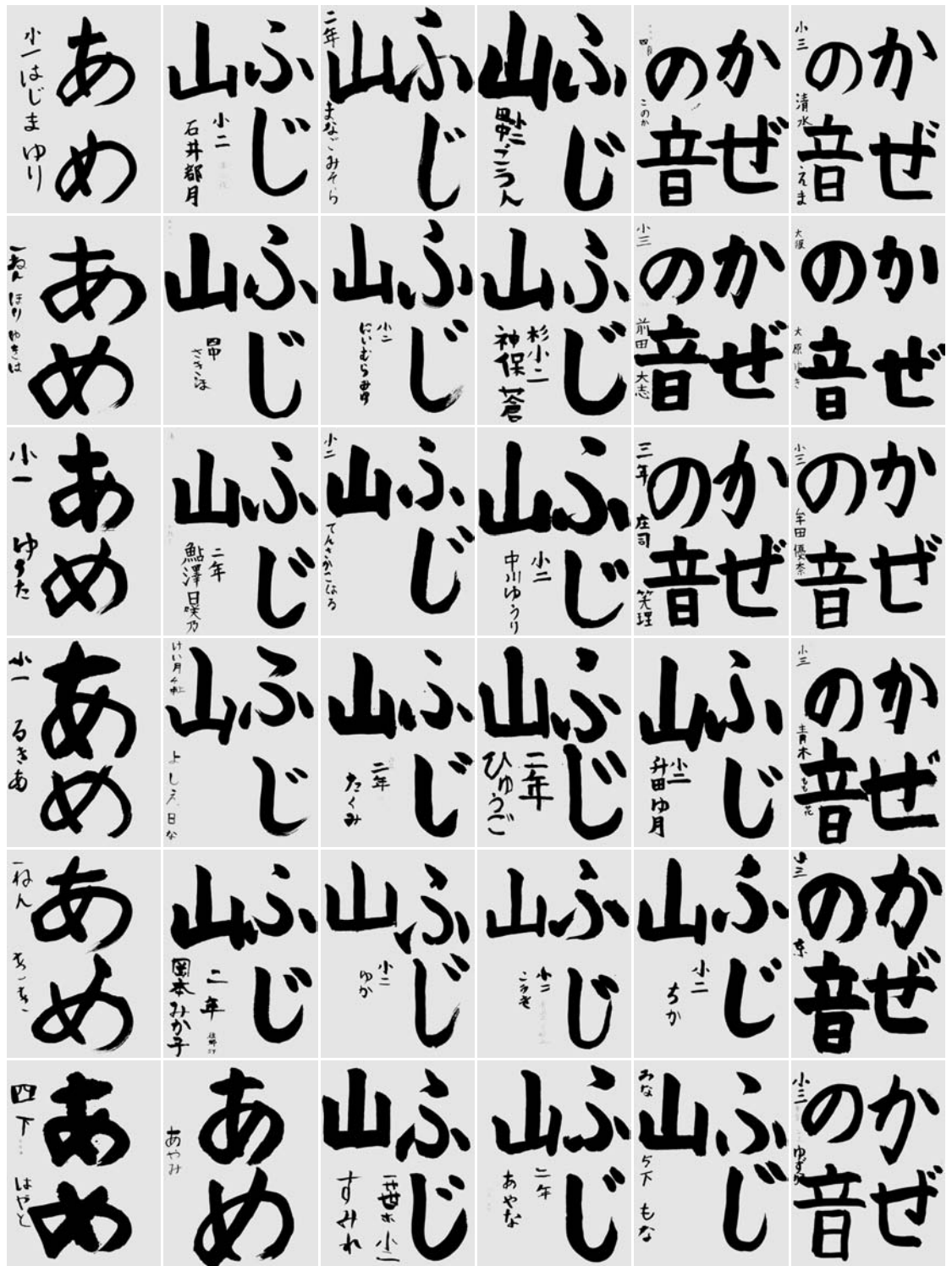
- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|------|
| 茅野 | 杉 | 玄 | 聖 | 練 | 富 | 山 | 志 | 千 | 宮 | 船 | 房 | 北 | 珠 | 名 | 皓 | 華 | 土 | 飯 | 神 | 若 | こ | 玄 | 紅 | 上 | 名 | 一 | 美 | 仙 | 小 | 水 | 優 | 〔毛筆〕 |
| 丸 | 宮 | 中 | 中 | 与 | 菊 | 末 | 近 | 岡 | 石 | 庄 | 安 | 大 | 依 | 西 | 山 | 飯 | 向 | 梨 | 岡 | 高 | 中 | 秋 | 戸 | 千 | 永 | 鈴 | 清 | 石 | 石 | 刀 | 〔中二〕 | |
| 星 | 陽 | 晴 | 友 | 結 | 涼 | 百 | 彩 | 銳 | 有 | 巨 | 桃 | 桃 | 香 | 凛 | 真 | 哉 | 茜 | 由 | 奈 | 花 | 芭 | 結 | 輝 | 愛 | 豊 | 一 | 木 | 水 | 橋 | 野 | 〔中三〕 | |
| | 菜 | 音 | 朋 | 愛 | 子 | 湖 | 丞 | 丞 | 里 | 輝 | 香 | 香 | 香 | 凛 | 由 | 哉 | 奈 | 奈 | 花 | 菜 | 菜 | 子 | 帆 | 莉 | 豊 | 花 | 光 | 原 | 優 | 幸 | 菜 | |



硯扇 月霞 光丘 珠悠 玄黙 照澤 晴美 皓花 秀雪 倭春 宝春 若松 峰雪 華雪 汀楓 柏心 高風 りん 若竹 御代 鈴鹿 硯峯 石峯 倭雪 秀雪 渚之 書之 この 高社 ひま 中野 綾華 竹華 有象 有虹
浅日 貝藤 小林 上運 川村 高森 三沢 田中 鈴木 佐藤 杉本 若松 齋藤 河嶋 矢本 塩川 大塚 中澤 田中 土屋 清水 竹井 大竹 九郷 吉田 立川 西村 友翔 庸明 希星
花南 由唯 菜白 花帆 結桜 拓実 愛花 礼香 智和 七海 花奈 咲奈 大輔 奈緒 舞優 優 桃香 沙希 亜樹 柳緒 桃香 莉緒 杏姫 夢夏 瑞姫 桜子 榎梨 日葵

小三 のかが 音ぜ	龍文 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	五年 のかが 音ぜ
小三 のかが 音ぜ	三年 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ
小三 のかが 音ぜ	三年 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	龍文 のかが 音ぜ
三年 のかが 音ぜ	三年 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	四年 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ
空 のかが 音ぜ	空 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ
三年 のかが 音ぜ	小三 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ	小四 のかが 音ぜ

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|------|----|
| 皓花 | 虹友 | 湊 | 正桂 | 霞墨 | 中央 | 美五 | 高風 | 山愛 | 練馬 | 平成 | 龍文 | 〔小三〕 | 平成 | 華雪 | 秀雪 | 倭 | 高社 | 花蓮 | 大田 | 光丘 | 玄樸 | 凜心 | 碩雲 | 葉月 | 瑞祥 | シ | 皓花 | 中野 | めぐ | 静翠 | 一繪 | 右文 | 名東 | 龍文 | 有穂 | 〔小四〕 | 朝日 |
| 清水 | 戸田 | 山田 | 三次 | 岡田 | 濱野 | 玉川 | 廣部 | 熊谷 | 小川 | 源関 | 前井 | 小林 | 野島 | 新居 | 堀田 | 多田 | 眞家 | 吉田 | 友野 | 近藤 | 篠宮 | 土屋 | 池田 | 吉田 | 田島 | 中山 | 金井 | 小沼 | 谷野 | 薄井 | 大野 | 小野 | 市之 | 井田 | 秋山 | | |
| 里心 | 知佐 | 浩太郎 | 優依 | 真奈 | 碧葉 | 隼介 | 隼介 | 美来 | 悠司 | 天寧 | 弥英 | 美咲 | ちもと | 田 | 央 | 彩 | 優奈 | 有唯 | 有唯 | 優里 | 沙耶 | 佳那 | 雪乃 | 真基 | 喜晴 | める | 虹璃 | 一生 | 友香 | 向葵 | の | 瀨利 | 涼太郎 | 龍生 | | | |



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|-----|----|----|------|-----|----|-----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 美二 | 神奈 | 和 | 玄黙 | 勝木 | 華雪 | 成城 | 【小一】 | 往郷 | 溪月 | 湊 | 美二 | 華雪 | 一葉 | 秀雪 | 書之 | さわ | 竹華 | 杉月 | 三池 | 青雲 | 山愛 | 凜心 | 杉 | 虹苑 | 美那 | 光丘 | 城彩 | 【小二】 | この | 湯本 | 美二 | 華雪 | 若松 | 藏 | 秀雪 | 大阪 | 若宮 |
| 菅原 | 柏木 | 青木 | 高井 | 堀 | 羽島 | 安藤 | | 岡本 | 吉江 | 鮎澤 | 柏 | 石井 | 田中 | 佐々木 | 辻田 | 天坂 | 新村 | 真砂 | 別當 | 小林 | 尾崎 | 中川 | 神保 | 田中 | 山田 | 秋谷 | 升田 | 庄司 | 前山 | 脇山 | 千葉 | 田代 | 青木 | 牟田 | 大原 | 清水 | |
| 颯 | 希姫 | 希亜 | 裕太 | ゆきは | 侑里 | 綾美 | | 珠加子 | 江 | 日咲乃 | 咲穂 | 都月 | すみれ | 悠花 | 拓末 | 心春 | 美優 | 綾菜 | 航希 | 彪梧 | 優莉 | 蒼 | 豪人 | もな | 千栴 | 結月 | 笑理 | 心花 | 志 | 柚香 | 京 | 桃花 | 優奈 | 有喜 | 咲磨 | | |

顔身公の書ハ型の中に入らうとすこと
をより自由な望望的な事象に
御しては流測たう若さの滞り
春次 師 麓湖

土佐日記は貫之が女性を装っ
て書いた紀行文である。仮名で
のびのびと書いている。兼業 中二筆使
鈴木莉理子

土佐日記は貫之が女性を装っ
て書いた紀行文である。仮名で
のびのびと書いている。有業 中二筆使
大野里紗

秋のお祭りて子供みこしを
かつぐ予定が、コロナで中止
となり残念です。大友 五郎
関口 真歩

秋のお祭りて子供みこしを
かつぐ予定が、コロナで中止
となり残念です。林馬 六
工藤 彩乃

晴れた空の下で元気に
運動会ができるのが楽
しみです。青野 四
小山 宏太

林の中から、スズ
ムシのなき声がき
こえます。上野 三
たかちん

顔身公の書ハ型の中に入らうとすこと
をより自由な望望的な事象に
御しては流測たう若さの滞り
遊 早 平 津 取 温 志

土佐日記は、貫之が女性を装っ
て書いた紀行文である。仮名で
のびのびと書いている。兼 中三筆使
齊藤 結奈

秋のお祭りて子供みこしを
かつぐ予定が、コロナで中止
となり残念です。五郎 六
染谷 結奈

秋のお祭りて子供みこしを
かつぐ予定が、コロナで中止
となり残念です。雅 六
小泉 頼理香

晴れた空の下で元気に
運動会ができるのが楽
しみです。八郎 五
尾 純乃

晴れた空の下で元気に
運動会ができるのが楽
しみです。平 四
小林 彩花

林の中から、スズ
ムシのなき声がき
こえます。中野 三
小口 透

月見れば千々にものこそ悲し
りれ我が身ひとつの秋にはあ
らねど大江千里の歌 城 月 娘
秋 子

土佐日記は、貫之が女性を装っ
て書いた紀行文である。仮名で
のびのびと書いている。八郎 中二筆使
吉内 亜香里

秋のお祭りて子供みこしを
かつぐ予定が、コロナで中止
となり残念です。雅 六
岩下 真結

秋のお祭りて子供みこしを
かつぐ予定が、コロナで中止
となり残念です。酒 大 六
沖野 絵麻

晴れた空の下で元気に
運動会ができるのが楽
しみです。可 四
吉田 珠美

林の中から、スズ
ムシのなき声がき
こえます。小 六
いかにうさき

林の中から、スズ
ムシのなき声がき
こえます。大 六
信之

土佐日記は、貫之が女性を装っ
て書いた紀行文である。仮名で
のびのびと書いている。光 中二
滝田 莉乃

土佐日記は、貫之が女性を装っ
て書いた紀行文である。仮名で
のびのびと書いている。三行 中三筆使
三井 陽菜

秋のお祭りて子供みこしを
かつぐ予定が、コロナで中止
となり残念です。北 五
神 遥帆

秋のお祭りて子供みこしを
かつぐ予定が、コロナで中止
となり残念です。有 七
三川 久保美怜

- (硬筆)
- 【一般】 春玖 高橋 麗湖 游墨 赤井 游恵 城彩 緒方 純子
 - 【中学】 光丘 滝田 莉乃 若葉 鈴木莉理子 綾華 齋藤 舞奈 八潮 古内亜香里 有虹 三井 陽菜 小五・六 大野 里紗
 - 【小一・二】 小光 かとうさき 上尾 高松 采桜 龍文 小口 透 大象 八品 信之
 - 【小三・四】 霞墨 尾鷲 日向 可児 吉田 珠美 華雪 小山 宏太 平成 小林 彩花
 - 【小五・六】 北府 神 遥帆 美菜 関口 真歩 雅 小泉 瀨理香 大阪 冲野 絵麻 大隈 川久保美怜 有穂 工藤 彩乃 練馬 尾藤 彩乃

競書成績

□写真版 ☆秀作 ○昇級

〔行書〕

Table with multiple columns of characters and names, organized into rows. Includes names like 北府, 岐阜, 右文, etc., and various numerical or symbolic indicators.

Main table containing names and symbols (square, circle, star) for various categories. Includes a sub-table for '小・中学校の部' (Elementary and Middle School Division) on the left side.

□は写真版(昇級しない) ○は昇級(1階級昇級する) ☆は秀作(同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。)

Main table containing names, grades, and other details for various groups. The table is organized into columns and rows, with names written in kanji and some symbols like stars and triangles. It includes names like 高木永真, 森谷五郎, 伊藤川崎, etc.

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

Table with 10 columns and 10 rows of names and symbols. Each cell contains a name (e.g., 中上, 安藤, 藤本) and a symbol (e.g., 8, 〇, 〓, 〇). The names are arranged in a grid-like pattern across the page.

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

Table with 10 columns and 15 rows of names and symbols. Each cell contains a name, often with a circled symbol (O or X) and a branch name (e.g., 有象虹支部, 有象支部, 有徳支部, etc.). The names are arranged in a grid-like pattern across the page.

注意 1. 作品には必ず支部名(学年) 段級位 氏名をお書き下さい。
2. 貼付するバーコード出品券の上段の出品課題の○印、段級位も忘れずに正しく書けているかご確認ください。
※上記にご注意いただき、正しい登録がされると誤りによりチェック等の作業がなくなります。ご協力下さい。

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。



第37回 成田山全国競書大会

開催のお知らせ

主催：成田山全国競書大会実行委員会
後援：中国大使館／読売新聞社

全国の少年少女を対象に、第三十七回成田山全国競書大会は明春成田山で開催、特別賞受賞者が中国へ派遣されます。どうぞ奮って応募下さい。

▼出品受付—令和三年一月二十五日(月)～三十一日(日)
各地区提出先へ送ってください。

▽対 象—小学生(幼児は小一に含む)／中学生／高校生
▽作品種類—記載は標準寸法です。

小・中学生の部 半紙 33・3×24・3 cm 美濃判は不可
幅 68・0×17・4 cm 小画箋半切四分の一
半紙 33・3×24・3 cm 美濃判は不可
幅 135・0×34・5 cm 半切〈大〉

▽課題 自由 但し小学生は六字以内、中・高生は字数も自由。
タテヨコ自由

▼十一月下旬、応募要項で詳細を発表、従来の出品者にはお送りします。

▼書象会関係委員

実行委員……………田 中 節 山
関東地区実行委員……………市 澤 静 山
東京地区審査委員……………内 藤 望 山
事務局委員……………杉 山 暁 雲

▼お問合せ・お申込は…

〒180-0001 武蔵野市吉祥寺北町四一三―一六
書象会成田山全国競書大会係
TEL・FAX 0422-153-9743

令和二年十二月一日発行(毎月一回一日)第六十八巻 第十二号 通巻七八一号

書象会便り

◆改組 第七回日展

△会 員▽ 田中節山 市澤静山
△審査員▽ 内藤望山
△無鑑査▽ 山口啓山
△入 選▽ 芦川臨泉 石丸暁風 大澤梢光
大島皎山 荻田光山 久保妍山
来司信博○小柳貞松○齋藤優月
○佐藤京香○佐藤茜沙○渋谷静秀
○杉山窓影 鈴木花照 鈴木春鳳
関 香風 竹内墨洋 竹内藍山
武原幽節 露崎玄峯 寺尾碩雲
仲島秀峰 畑中高山○早川雅節
藤澤珠玉 藤森大節 宮本耕成
柳澤玄嶽 (○印は初入選)

◆第83回謙慎書道会展役職決まる

書象会関係は以下の通り
△審査顧問▽ 田中節山
△審査副主任・審査進行▽ 市澤静山
△特別賞選考委員▽ 田中節山 市澤静山
内藤望山
△当番審査員▽ 杉山暁雲 宮本耕成
※審査員の就任については、十一月号に詳細を記載。

◆第83回謙慎書道会展

△第一会場▽
会 期 令和三年三月十七日(水)～二十三日(火)
会 場 東京都美術館
△第二会場▽
会 期 令和三年三月十六日(火)～二十二日(月)
会 場 池袋サンシャイン文化会館

※第83回謙慎書道会展の申込の締切日が、十二月十八日(金)となっています。(郵便振替) 申込をされていない方は、書象会本部までご連絡下さい。

《書展予告》

☆第8回書象会大阪支部展

会 期 十一月二十一日(土)～二十二日(日)
会 場 中之島中央公会堂
主 宰 藤澤珠玉

☆第13回葛飾現代書展

会 期 十一月二十一日(土)～二十七日(金)
会 場 かつしかシンフォニーヒルズ二階ギャラリー
出品者 小川仙草 露崎玄峯(本会関係)

《新年会の中止について》

令和三年一月二十四日(日)に予定していました書象会総会・新年会はコロナ禍のため中止といたしました。なお、当日実施予定となっております総会につきましては、後日改めて資料添付の上会員全員に御案内させていただきます。総会での審議事項等につきましては書面での議決を予定しております。
御理解のほど宜しくお願いいたします。

氏名	発行人 (有) 書象
	代表 上 條 節 夫
	東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三―一六
	郵便番号180-0001 電話042-253-9743
	振替口座 〇〇一九〇一七二二五六九一
	振替名義 (有) 書象
	印刷所 株式会社 リンクス

http://www.shoshukai.com

定価六一五円 送料八五円